

東松山市立北中学校 第1学年 「英語科」シラバス

教科の目標

- * 英語に興味関心を抱き、自ら初歩的な英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする。
- * 初歩的な英語を使って、相手の意向を理解し、かつ身の回りのことを表現できる。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけようとしている。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

【評価の方法】

- 定期テスト、小テストによる評価
- パフォーマンステスト
- 宿題、ノート、作品等の評価
- 発展的学習（課題作文）への取り組み等
- 授業中の態度、発言・発表のようす

特色ある学習方法

- 生徒一人一人が積極的、意欲的に取り組むことができるよう、教材の工夫や教具の充実を図る。
- ALTとの会話を積極的に全員が楽しく行えるような場面設定の工夫
- フォニックスなど音を重視した学習指導の工夫
- CDやビデオ、プロジェクター等の視聴覚機器を利用した学習の工夫
- 音読を重視した学習指導の工夫
- 場面に応じた自己表現活動の工夫

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った英語表現、アルファベットの名前と音、大文字・小文字 ・英和辞典の使い方と構成要素 ・be 動詞、一般動詞、助動詞 can ・This is ..., what, who, how ・where, when, I want to ..., How many ...? ・命令文、What +名詞 ...? ・前置詞、動詞の過去形、動名詞 ・1学期の学習事項のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり、書き写したりすることができる。 ・英和辞典の見出し語配列について知り、基本的な使い方を理解する。 ・自分が普段よくすることや、できることを伝えることができる。 ・身近な人や物について紹介したり、尋ねたりすることができる。 ・いつ・どこなのかを尋ねたり、数を尋ねたりすることができる ・相手に指示したり、時刻や好きなものを尋ねたりすることができる ・行った場所やそこで楽しんだことなどについて話すことができる。 ・自分の好きなことについてつながりのある文章を書くことができる。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形 ・Can I ...? Can you ...? ・which, whose ・What's wrong? ・現在進行形 ・グリーティングカード ・不定詞、look+形容詞 ・道案内（道を尋ねる。案内する。） ・2学期の学習事項のまとめ ・物語文 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と相手以外の人や物などについて、尋ねたり伝えたりすることができる。 ・身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。 ・どちらなのか、誰のものなのかを尋ねたりすることができる。 ・体調について尋ねたり説明したりすることができる。 ・今していることについて説明したり尋ねたりすることができる。 ・目的に合わせたカードを書くことができる。 ・したいことやする必要のあることなどについて説明したり尋ねたりすることができる。 ・徒歩での道順を尋ねたり教えたりすることができる。 ・好きな有名人などについて尋ねたり説明したりすることができる。 ・図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形 ・英語での手紙の書き方 ・be 動詞の過去形、There is [are] ・Would you like ...? ・1年間の学習事項のまとめ ・物語文 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の出来事について説明したり、尋ねたりすることができる。 ・旅先からの絵はがきを書くことができる。 ・過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 ・レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。 ・思い出に残った学校行事について発表することができる。 ・物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。

東松山市立北中学校 第2学年 「英語科」シラバス

教科の目標

- * 英語に興味関心を抱き、自ら初歩的な英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする。
- * 初歩的な英語を使って、相手の意向を理解し、かつ身の回りのことを表現できる。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけようとしている。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

【評価の方法】

- 定期テスト、小テストによる評価
- パフォーマンステスト
- 宿題、ノート、作品等の評価
- 発展的学習（課題作文）への取り組み等
- 授業中の態度、発言・発表のようす

特色ある学習方法

- 生徒一人一人が積極的、意欲的に取り組む授業の充実を図る。
- ALTとの会話を積極的に全員が楽しく行えるような場面設定の工夫
- フォニックスなど音を重視した学習指導の工夫
- OCDやテープ、ビデオ等視聴覚機器を利用した学習の工夫
- 音読を重視した学習指導の工夫
- 場面に応じた自己表現活動の工夫

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去形や過去進行形、There is There are ・ be going to や will, SVOO, SVOC ・ 接続詞 when, if, that, because ・ 不定詞(副詞的・名詞的・形容詞的用法) It is ... + to ・ 既習事項の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。 ・ 休暇や週末の予定について、尋ねたり伝えたりすることができる。 ・ 好きな食べ物やその理由について紹介文を書くことができる。 ・ 自分が体験したことや学んだことなどについて尋ねたり伝えたりすることができる。 ・ 説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ have to, don't have to, must, must not 動名詞 ・ 疑問詞 + to、主語 + 動詞 + (人) + 疑問詞 + to, 疑問詞 + to, 主語 + be 動詞 + 形容詞 + that ・ 比較表現 ・ 既習事項の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習慣やマナーについて、尋ねたり伝えたりすることができる。 ・ 身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。 ・ 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。 ・ 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを込めて音読したりすることができる。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受け身 ・ 既習事項の総復習 ・ 既習事項の総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地の世界遺産を紹介することができる。 ・ 自分の町のおすすめの場所について書き、相手のその場所の特徴やよい点を伝えることができる。 ・ 人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。

教科の目標

- * 英語を聞いて、短い説明の要点をとらえることができるようにする。
- * 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができるようにする。
- * 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
- * 書くことに慣れ親しみ、自分の考えなどを書くことができるようにする。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけようとしている。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

【評価の方法】

- 定期テスト、小テストによる評価
- パフォーマンステスト
- 宿題、ノート、作品等の評価
- 発展的学習（課題作文）への取り組み等
- 授業中の態度、発言・発表のようす

特色ある学習方法

- 視聴覚教材を用いた展開の工夫（ICT等）
- JTE(ALT)との会話、生徒同士の会話を意欲的に行えるような場面設定の工夫
- 英語ルームでの学習
- 音読を重視した学習指導の工夫
- 場面に応じた自己表現活動の工夫
- 課題学習の充実（課題英作文）

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語でのあいさつ ・ クラスルームイングリッシュ ・ スピーチ ・ 受け身 ・ 現在完了(継続)の平叙文 ・ 現在完了(継続)の疑問文とその応答 ・ 現在完了(経験)の平叙文 ・ 現在完了(経験)の疑問文とその応答 ・ 現在完了進行形 ・ want 人 to ~ ・ let[help]+人など+動詞の原形 ・ It is 形容詞 for … to do ・ 課題英作文 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の授業を行うにあたっての授業規律を図る。 ・ 新出文法事項を理解し、積極的な自己表現活動ができる。 ・ 自分の体験談を発表することができる。 ・ 音声変化に注意して音読することができる。 ・ 誰かにしてほしいことについて伝えることができる。 ・ 新出文法事項を理解し、自分にとって簡単なこと、難しいこと等を表現することができる。 ・ 既習表現の復習
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間接疑問文 ・ SVOO (what 節) ・ 現在分詞・過去分詞の後置修飾 ・ 間接疑問文 ・ 接触形(関係代名詞省略)の使い方 ・ 関係代名詞(who, that, which)の主格、目的格の使い方 ・ 関係代名詞(that)の目的格 ・ 後置修飾 ・ 仮定法 ・ 課題英作文 ・ 3年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語独特の表現を用いて ・ 身近な人・物を関係代名詞を用いて表現できる。 ・ 適切な表現を使用して対話活動ができる。 ・ 物語を読んだり、聞いたりして内容を理解できる。 ・ 本文の内容について自分の意見が持てる。 ・ 関係代名詞のまとめ ・ 物語を読んだり、聞いたりして内容を理解できる。 ・ 音声変化に注意し、感情を込めて音読することができる。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題英作文 ・ 3年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考え、思いを英語で書くことができる。 ・ 英語・既習の表現の復習